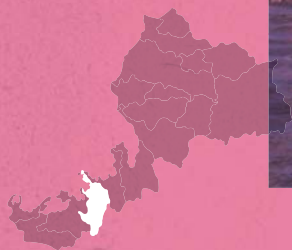


わか さ ちょう 若 狭 町

〔人 口〕15,604人
〔世 帯 数〕5,048世帯
〔面 積〕178.49km²
〔人 口 密 度〕87.4人/km²
〔保 育 園〕2カ所(私)/7カ所(公)
〔幼 稚 園〕—
〔認定こども園〕—
〔小 学 校〕10校
〔中 学 校〕2校

(H28.4現在)

WAKASA Town



主な移住者支援策

若狭町移住サポート事業

若狭町を移住のために見学に来られる方に旅費、宿泊費を助成します。

空き家活用支援事業

若狭町空き家情報バンクに登録されている空き家に住まわれる方のリフォーム費用を補助します。

わくわくタクシー (デマンドタクシー運行)

事前登録制の乗り合いタクシーで、一回の乗車につき300円で町内の施設に移動できます。



若狭町 政策推進課 未来創造室

〒919-1393

福井県三方上中郡若狭町中央1-1

TEL.0770-45-9112

seisaku@town.fukui-wakasa.lg.jp

わかさ生活ナビ

検索



笑顔と名水があふれ出す町「若狭町」

自然豊かな若狭町は、ラムサール条約登録湿地の『三方五湖』、近畿一美しい川『北川』、おいしい水全国2位の『瓜割名水』がある『水の町』。これら自然と過ごす「若狭里っ子保育」は子どもの創造性や主体性を育てます。学力・体力とも全国上位の若狭町で子育てしてみませんか。



交通

JR小浜線、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーが運行。舞鶴若狭自動車道の若狭三方IC・若狭上中ICがあり、2018年に三方五湖PAにスマートインター開設予定。自家用車はある方が便利です。



買い物

スーパー3店、ホームセンター1店、コンビニエンスストア7店。『道の駅三方五湖』では、特産の梅を使った加工品や野菜などを、『道の駅若狭熊川宿』では鮎寿司などの特産品を販売。梅の直売所が多数あります。



子育て・教育

自然体験を通じて子どもの豊かな人間性を育み、協調性・創造性・自主性を伸ばすことを目的に「若狭里っ子保育」を実施。また、第3子以降の保育料を無料とするなど、子育てでサポート事業に力を入れています。



医療

医療機関は15カ所。中学校修了までの子どもについて、外来・入院を問わず、医療機関等で支払った保険診療分の医療費や食事療養費等の自己負担分を助成する「子ども医療費助成」制度を設けています。



産業

県内有数の工業団地「若狭テクノバレー」には、関西・中京等から医薬品などの企業10社が進出。また、農業・漁業が盛んな中、『三方五湖』周辺で栽培される梅を使い、梅干しなど多様な加工品が作られています。



レジャー

海岸では釣りや海水浴、カヤック体験、大敷網見学が、『海浜自然センター』では魚の観察ができます。『三方五湖』レイククルーズ、『縄文博物館』での縄文体験、さらに農業体験、梅もぎ・梨狩りも楽しめます。

interview

先輩移住者の声

ビジネスでなくライフ(人生)を見つける

若狭町へは10年前から遊びに来ており、土地の良さや水・食べ物のおいしさ、大阪から100kmという近さが移住の決め手です。人の数と自然のバランスがよく、車と信号、チェーン店が少ない。でもインターネットの速度は速いし、Amazonの配達は1日で届く。魅力はいっぱいです。収入は減りましたが、無駄な付き合いがなくなり、ゆっくり考える時間を持つようになりました。どの土地も、そこにはモノ・コトに気づいたときがチャンスです。あとは勇気と段取りだけ。ビジネスを探さず、人生を見つけにきてください。



大阪府→若狭町 移住5年目

反田 和宏さん

家族2人暮らし(妻)

都市での消費生活に飽き、モノづくりができる生活を求め、よく遊びに訪れていた若狭町へ移住。写真家として活動しながら、サブサンドなどを提供するSaba Cafeを夫婦で経営。